

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2005-525455(P2005-525455A)

【公表日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2005-033

【出願番号】特願2004-504718(P2004-504718)

【国際特許分類】

C 08 L	75/04	(2006.01)
A 43 B	23/02	(2006.01)
B 32 B	5/24	(2006.01)
B 32 B	27/40	(2006.01)
C 08 G	18/10	(2006.01)
C 08 L	23/30	(2006.01)
C 08 L	39/06	(2006.01)
D 06 M	11/76	(2006.01)
D 06 M	11/79	(2006.01)
D 06 M	15/227	(2006.01)
D 06 M	15/285	(2006.01)
D 06 M	15/564	(2006.01)
D 06 M	15/21	(2006.01)
C 08 G	101/00	(2006.01)
D 06 M	101/06	(2006.01)
D 06 M	101/32	(2006.01)

【F I】

C 08 L	75/04	
A 43 B	23/02	1 0 1 A
B 32 B	5/24	1 0 1
B 32 B	27/40	
C 08 G	18/10	
C 08 L	23/30	
C 08 L	39/06	
D 06 M	11/76	
D 06 M	11/79	
D 06 M	15/227	
D 06 M	15/285	
D 06 M	15/564	
D 06 M	15/21	Z
C 08 G	18/10	
C 08 G	101/00	
D 06 M	101/06	
D 06 M	101/32	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年10月3日(2007.10.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

保湿度並びに高密度および高湿度の環境から、より低密度および低湿度の領域への水分蒸散を最適化するように配合された、相互連結したストランド、フィラメント並びに間隙および空間から成る画定されたマトリックスを有し、下記成分：

a . 親水性ウレタンプレポリマーとは別途である、必須成分の水、超吸収性ポリマーおよび湿潤剤を含む水性相、ここで超吸収性ポリマーの量は水性相の重量に対して0.1重量%であり、該湿潤剤の量は水性相の重量に対して70%以下である；

b . 該水性相に含まれる少なくとも1種のアニオン性、カチオン性、両性および双性イオン性界面活性剤；および

c . フィラー、織布、不織布短纖維材料、着色剤、抗菌物質および芳香剤から成る群から選択される任意および選択的な添加剤；そして

親水性ウレタンプレポリマー、を含有する反応生成物から形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料であって、

該超吸収性ポリマーが、ポリアクリル酸ナトリウム／ポリアルコールポリマーまたはコポリマー吸収剤を含有し、および

該湿潤剤がグリセリンを含有する、

形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 2】

前記フィラー材料が、珪灰石、長石、炭酸カルシウムおよび炭酸水素ナトリウムから成る群から選択される請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 3】

前記纖維材料が、セルロース、ポリエステルおよびガラスから成る群から選択される請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 4】

前記フィラー材料が珪灰石、長石、炭酸カルシウムおよび炭酸水素ナトリウムから成る群から選択され、かつ、前記纖維材料がセルロース、ポリエステルおよびガラスから成る群から選択される請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 5】

40°での水蒸気透過度が、600～20,000 g / m²・24 h である請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 6】

a . 前記超吸収性ポリマーが、親水性ウレタンポリマー発泡複合材料を形成する反応生成物に対して0.1重量%以下の量である粒状の超吸収性ポリマーであり、かつ前記マトリックスのストランド、フィラメント並びに間隙および空間の中、上または全体に、完全にまたはほぼ均一に分散されており；かつ

b . 該間隙および空間が、形成した発泡複合材料中の吸水性および水分蒸散を向上するためにサイジングおよび成形されている；

請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 7】

水分を吸収することなしに水分を容易に通過させるために、前記マトリックスの少なくとも1つの表面に結合した被覆生地材料を有する請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 8】

前記被覆生地材料が、水分浸透性接着剤を用いて結合されており、かつ該接着剤が、熱活性化ウェブ接着剤、ドットマトリックス接着剤および火炎貼り合わせ接着剤から成る群から選択される請求項7記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項 9】

低湿度領域に隣接する前記形成した発泡複合材料側への回収した水分の蒸散を防止する

ため、フィルムおよび膜生地から成る群から選択される材料から成る他の層と結合した前記被覆生地から離れた少なくとも1つの表面を更に有する請求項8記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項10】

少なくとも1つの形成したウレタン発泡層が、40°での水蒸気透過度600～20,000g/m²・24hを有する請求項7記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料。

【請求項11】

甲部および底部が接合されて、使用者の足用の空間を画定し、回収された水分用の微環境を形成し、該甲部が請求項1記載の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料を有し、該材料が該履物中の通気性および低湿度を向上するため該履物外部の周囲空気と通じている履物。

【請求項12】

前記甲部上の形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料が、それを通して該材料が履物中の微環境と該履物外部の周囲大気との間で通じている少なくとも一種の親水性ウレタンポリマー発泡複合材料を含み、該材料が水分浸透性である該履物中の微環境と通じたカバーを含む請求項11記載の履物。

【請求項13】

前記材料が、回収された水分が周囲空気によって置換されるように、回収された水分および周囲空気の両方が、前記複合材料層に沿って縦方向に、かつ前記被覆生地の水分浸透性領域を通って横方向に移動する前記甲部に、固定されている請求項12記載の履物。

【請求項14】

前記甲部が、履物外部の周囲大気と通じるように配置された使用者の足用の空間の周りに上縁部を有し、少なくとも1つの親水性ウレタンポリマー発泡複合材料の開放側端が履物中の微環境と該履物外部の周囲大気との間で通じているように、前記形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料が二者択一的におよび選択的に該上縁部の周りに接合され、該材料が水分浸透性である該履物中の微環境と通じた被覆生地層を含む請求項12記載の履物。

【請求項15】

前記甲部が、該甲部と一体成形され、かつ履物外部の周囲大気と通じるように設計された舌革部を有し、前記開放側端が履物の外部と通じて、回収した水分を該履物中の微環境から流し、かつ周囲空気が該発泡材料を通して該履物に入るよう、前記形成した親水性ウレタンポリマー発泡複合材料が該舌革部の少なくとも内側面と選択的に結合する請求項12記載の履物。

【請求項16】

甲部の水分浸透性領域が裁ち端を有する襟部である、請求項11記載の履物。

【請求項17】

前記マトリックスが、サイジングされランダムに配置された間隙を有し、形成した発泡ライナーを通る、回収した水分の毛細管現象および移動が向上されている、請求項12記載の履物。